

非核の政府を求める石川の会 会報

非核・いしかわ

原発のない新しい石川へ

三・九ノーニュークスデーに四〇〇人の熱気

前日の吹雪と一転する太陽の陽ざしの中、福島原発事故から三年、全国の「原発ゼロ」をつなぐ日、三・九全国行動く福島を忘れるな！再稼働を許すな！と金沢市役所前広場に「電気は足りています！」



3・9石川県行動でパレードの先頭を歩く
呼びかけ人の皆さん

足りないないのは愛！」とハート型の手づくりクッキーを籠に入れて配りながら参加した親子連れやプラカードなどを手に手に、老若男女四百人が集まりました。

出発集会では、この日参加された五十嵐正博非核石川の会代表世話人はじめ十一人の呼びかけ人の紹介があり、代表して「原発の危険から子どもを守る北陸医師の会」の吉田均医師が挨拶。

長曾輝夫事務局長は一〇万署名の第一次分一万二八一七筆を二月二四日石川県へ提出したことを報告、引き続き一〇万筆署名をめざそうと参加者に提起。リレートークでは、事故直後妊娠が分かり家族ぐるみで金沢に移住してきた高森もも子さんは二歳四カ月の息子さんと一緒に参加し、「あの事故が起こるまでは、まさか生まれ育った故郷をこんな形で離れることは夢にも思っていませんでした。生まれてくる我が子に申し訳ない気持ちになったこともありました・・・。大切な誰かの生命を踏み台にしてしか発電できないシステムの原発、一部の私たちの利益のために物事が動くのはおかしいです。子どもに安心して暮らせる原発の無い未来を渡したいんです」と発言。毎週金曜行動八五回を積み重ねた「どいね☆原発」に参加している郷原リエ子さ

非核5項目

- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める。
- ② 国是とされる非核三原則を厳守する。
- ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する。
- ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する。
- ⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する。

花鳥風月

世界に原発は四三六基(二〇一〇年IAEA発表)あるという。上位一〇カ国はアメリカ一〇四基と断トツに多く、フランス五九基、日本五四基、ロシア三一基、韓国二三基、イギリス一九基、カナダ一八基、インド一八基、ドイツ一七基、ウクライナ一五基である▼中国は一四基稼働し、建設中二六基、計画が五一基で、計画が実現すると世界で二位の保有国となる。中国の立地は海岸と内陸部に有り、地震等自然災害もあり原発事故が起きないといえない▼韓国は二三基稼働し、建設中五基、計画が六基ある。その内一七基が半島の東海岸側に編在し密集している。東海岸の立地は活断層地帯と重なるという。韓国でも原発事故は絶えずあるが、隠蔽と非公開で知られていない。反原発運動は過去にもあったが弾圧と分裂で広がらなかったという▼日本と韓国は政府と経済界一体で原発輸出競争をしており、放射能汚染拡散の加害国になる恐れがある▼福島並みの事故が中国や韓国で起きると海洋汚染ばかりでなく偏西風の影響で日本への被害も予想される▼私たちの脱原発運動や環境保全運動は国際連帯を必要とし、国際友好運動の課題でもあるか▼アメリカはスリーマイル事故後、新設は無い。(平)

んは「続ける中で必ず変化は起きる。シールアンケートに応じていただいた方は一年余りで二八九二人になりました。私自身もツイッターで知り、途中から参加した一人です」と自らの動機を報告。

原発問題住民運動石川県連絡センターの児玉一人さんは原子力規制委員会の志賀原発現地調査について「原発を保有する電力会社のうち、再稼働の申請が出来ていない一社が北陸電力です。住民と科学者による活断層調査が突き付けた結果が北陸電力を追い詰めている」と報告。

「政府の再稼働方針は理解できる、という知事では、子どもも石川の未来も守れません」と新しい県政をつくる県民の会の木村吉伸さん。続けて「知事が再稼働ノーと言えれば動かさせません。志賀原発廃炉の県政へ転換させましょう」と呼びかけました。

リレートークに続き、いのちと原発は共存できません。全国で巻き起こった反対運動で現在原発は「稼働ゼロ」です。これこそ国民の希望です。まるで三年前の『福島原発事故が無かったかのように、原発の恒久化を盛り込んだ「エネルギー基本計画」を決め、再稼働に向けて突き進む安倍政権の暴走にノー「再稼働するな」「志賀原発廃炉」の意思をしっかりと示し、原発のない新しい石川を発信しましょう』と集会アピールを採択しました。

最後に、太鼓や打楽器の音色に合わせて市役所前から買い物客で賑わう香林坊、片町、堅町商店街をパレードし、沿道のみなさんと「原発なくそう」「子どもを守ろう」とコールを交わしました。原発ゼロへの新たなうねりを体感した日となりました。

この日三万二千人集まった東京をはじめ、全国四

六都道府県一六〇カ所を超え、暴走安倍政権を包囲しました。

(非核石川の会常任世話人 尾西洋子)

三月九日 原発をなくす県民集会 「どいね☆原発」参加者が行動よびかけ

みなさんこんにちは。私たちは毎週金曜の夜に原発再稼働反対や脱原発を訴えて行動を続ける市民グループ「どいね☆原発」です。二〇一二年七月に北陸電力石川支店前で行動を始めて以来、一年八ヶ月にわたり続けてきました。その積み重ねでこの前の金曜日で通算八五回の行動となりました。

現在は金沢駅東口の鼓門の下で通行人の方に「原発が必要」「いらぬ」「わからない」の中から自分の思いに近いものにシールを貼ってもらい、原発について思っていることを聞く形式で進めています。また、毎月一回金沢市内などを歩いて脱原発の思いを表現するパレードにも一年にわたって取り組んできました。

行動を続けていく中でなんとなく街の変化も感じています。シールアンケートにも最初よりも多くの方が気軽に応じてくれ、話をできる機会も増えています。二〇一二年一月から二〇一三年の一二月まででアンケートに感じていただいた人は二八九二人におよび、七割が「いらぬ」、あとの半分ずつが「必要」「わからない」に投票していて「原発はいらない」というのが街の人たちの強い思いなんだということを実感しています。

そしてこの行動の中で一番大事にしていること

が「原発がいる・わからない」という意見の人を排除せず、丁寧な話をするということです。「原発は発電のコストが安い」「電気が足りなくなったら心配だから」「今はすぐに無くせないからとりあえず残す」。必要という人の中にもさまざま意見があり、じっくり話し合うと「原発ってそんなに安いわけではないんだね」「原発が無くても電気は大丈夫やん」と理解してくれる人も多くいます。これまで原発を続けてきた人たちが流してきたウソの情報や誤解などを丁寧に解きほぐしていくことが原発について考えてもらうために本当に大事だと感じています。

さらに私たちが行動を続けていく中で大切だと感じているのが「大変で苦勞も多いけど、毎週続けていく」ということです。確かに二〇一二年の夏のように官邸前に十万人以上の人が集まり、全国各地で一気に運動が盛り上がるということは少なくなってきました。しかし、行動を続ける中で新たに運動に加わってくれる人、久しぶりに行動にやっけて頑張ってくれる人も多く、「続ける中で絶対に変化は起こる」ということを感じています。そんな私もツイッターで金沢でも行動が行われていることを知り、途中から参加し始めた一人です。

私たちが再稼働反対や廃炉を訴えている志賀原発は敷地直下や周辺に活断層があると科学者の人たちから指摘され、事故があったら住民の人たちは避難できない、電力需給のうえで必要性もないなどの多くの矛盾を抱えています。これだけ多くの問題があるのに国も県も北陸電力もなぜ再稼働を目指すのでしょうか？住民の安全と命を守るのが国や

自治体の責任なのに本当におかしいと思います。

私たちはこれからも毎週金曜の行動や毎月のデモを通じて、「これからも日本に原発は必要か？」を問い続けます。ぜひみなさんもお時間があれば、金曜行動やデモに加わってください。「原発無くても石川県は大丈夫、日本はやっていける」の世論を広げるため、これからも一緒に頑張っていきたいと思います。

◎本稿は「どいね☆原発」に参加している郷原リエ子さんの発言原稿です。

◇ ◇ ◇

熱気あふれた3・1ピキニデー

下 政信

一〇〇〇人を超す参加者で集会は熱気にあふれていた。石川県からは六人が参加した。

集会で日本原水協代表委員の高草木博氏は、「広島・長崎の後、これまで核兵器を使わせなかったのは原水爆禁止運動をはじめとした世界の平和の世論によるところが大きかった」と自信を込めて報告した。そのことは近年の「核兵器の非人道性」の声の広がりの中で、二〇一三年に『核兵器の人道的影響に関する共同声明』が一二五カ国連名で発表されたり、アメリカンフレンズ奉仕委員会のジョセフ・ガーンソン氏やアメリカン大学歴史学教授のピーター・カズニック氏らが詳しく調べ、著書に書いたりしたとおりである。

米国がピキニでおこなった水爆実験で「第五福竜丸」の乗組員が被曝したことを日本政府は二〇〇万

ドルを受け取り隠蔽した。このことは勿論許されざることだが、更にその後の調べで、マシーナル諸島海域で「死の灰」の被害を受けた漁船は一〇〇〇艘近くあり、実際には広範に放射能汚染が拡がっていたことが分かってきた。

三・一集会で安斎育郎氏が基調報告されたピキニ水爆被災事件の教訓は、(一)大国は世界戦略のためなら冷酷にも弱者を犠牲にすることがあること、(二)大国は不都合な情報を隠蔽し、真相を見えにくくする恐れがあること、(三)被災実態を掘り起こすこと、(四)被災者と市民が連帯し世論を盛り上げること、(五)粘り強く運動を続け、情報を発信し続けること、であ



2014年3・1ピキニデー日本原水協全国集会
(2月28日、静岡グランシップ)

った。このことは三月一日に発売された氏編集の『ピキニ水爆被災事件の真相』(かもがわ出版)に詳しく記載されているので参照されたい。

これからの原水禁運動のあり方をめぐり、ジョセフ・ガーンソン氏は「日本の原水禁運動は世界の政治を動かそうとしており、核大国を追いつめつつあり、人類史上珍しいことです」と発言した。安斎氏も「被爆者の証言、署名運動、核の傘や核抑止論の批判や告発、デモ、様々な共同の取り組み、代表団派遣、次世代の核廃絶活動家の育成等を通じて世界の灯台になってきました」と前記の書籍で述べている。

分科会には原発ゼロの運動、憲法九条を守る運動、米軍基地撤去の運動との連帯も挙げられた。世界の識者と文化人二三人による『沖繩の海兵隊基地建设にむけての合意への非難声明』(二〇一四年一月)も発表され、沖繩代表は大変心強いと発言した。

私も分科会で次のように発言した。「米国バーモント州で田中むつみ氏の被爆の実相を知らせる講演と労働者の経済問題を話し合うタウンミーティングをセットで行ったところ、核廃絶が州議会の最優先課題となった。核廃絶と九九%の運動(経済格差の是正)とつなげて訴えることで運動がもっと広がるのではないかと」。

私はガーンソン氏から we are 99%のバッチを直接いただき大感激！これからも「核兵器全面禁止のアピール」署名に粘り強く取り組み、二〇一五年のNPT再検討会議にしっかりと届けたいと決意した。

(内灘憲法九条の会)

非核平和の海外情勢

核兵器の人的影響に関する

第二回国際会議がメキシコで開かれる

二月二日、非核の政府を求める会常任世話人が開催され、藤田俊彦常任世話人から国際情勢に関して以下の報告がありました。

二月一三日～一四日、メキシコのナジャリットで、核兵器の人的影響に関する第二回国際会議がメキシコ政府の主催によって開かれ、一四六ヶ国の代表団と国連、市民団体などが参加した。

この会議は昨年三月にノルウェー政府がオスロで開催した第一回会議のフォローアップの会議であった。

第一回オスロ会議では、核兵器が使用された場合の被害の深刻さが論議され、その議長総括では、「核爆発による緊急事態に十分な対応や救援を行うのは、どんな国や国際機関でも不可能だ」と述べ、核兵器の非人道性について強調されていた。

核兵器廃絶に向けて

あらゆる国際会議・市民社会と共同を

第二回ナジャリット会議の議長総括の要点は以下のとおりである。

- ・ 核爆発は各国の国境を超えて影響を及ぼす。
- ・ 核爆発によって直接的な死と破壊だけではなく、社会的・経済的な発展を阻害する。
- ・ 核爆発時には、短期的・長期的な人道上の支援や保護に取り組む能力は、いかなる国も国際機

関も持ちえていない。

- ・ 経済・通商・通信・医療・学校などの社会的インフラに重大な損害を与える。
- ・ 放射能被ばくは、人体に対して短期的および長期的な否定的な影響を及ぼす。

- ・ 核兵器使用のリスクは、サイバー攻撃やテロ攻撃などによって高まっている。
- ・ より多くの国が核兵器を保有していることにより、意図的あるいは偶発的な核兵器の使用のリスクが高まっている。

議長総括は核兵器は非人道的な兵器であるという

ことを改めて確認した上で、この間の包括的核実験禁止条約の発効や年国連総会ハイレベル会議、二〇一五年のNPT再検討会議など、核兵器の廃絶を求めるあらゆる国際会議と連動し、また市民社会と共同して運動をすすめるように提案している。

そして、今回のオーストリアでの会議を熱烈に歓迎し、「過去において、さまざまな兵器が法的に禁止されたのちに廃絶されたことを考慮に入れる必要がある」として、法的拘束力のある『文書』（条約）の必要性について言及した。

核兵器の人的な影響を討議する会議は、当初から「核兵器は非人道的な兵器であり、国際人道法に違反するものであり、よって核兵器の使用は明白な国際法違反である」という論理性を持っていた。

日本国政府は会議に不参加の可能性

日本国政府は、その被爆体験から、「核兵器は非人道的な兵器である」ということは認めつつも、核兵器が存在する限りその「抑止力」が必要であり、

核兵器の廃絶は、ステップバイステップに行われるべきだという立場をとってきた。

これまで、日本国政府は、「核兵器は非人道的兵器である」という立場から、これまでの一連の会議に参加し、かつ、昨年一〇月に『核兵器の人道上の影響に関する共同声明』にも署名した。しかし、この核兵器の人的影響を問う動きが、核兵器の使用禁止にむけた法的枠組みを求める運動に発展しつつある現在、日本国政府は、これまで曖昧にしてきた立場を鮮明にせざるを得なくなってきた。

この点に関して外務省は、ナジャリット会議の『概要と評価』の最後に、「オーストリアが、本年後半に第三回会議を主催する旨表明し、ナジャリット会議のフォローアップが行われることになったところ、我が国として如何なる対応をとるべきか、検討する必要がある」と、今後の会議に不参加の可能性もあると述べている。

このように、核兵器禁止条約の動きが高まる中で、日本国政府は新たな提案を行おうとしている。日本国政府は、四月一二日に広島で「軍縮・不拡散イニシアチブ(NPDI)」の会議を開催する予定であり、それに向けて岸田外相は一月二〇日長崎で「核軍縮・不拡散政策スピーチ」と題して講演を行った。スピーチは、「核兵器のない世界をめざしていく」という前提の上で、核兵器の使用を「個別的・集団的自衛権に基づく極限の状況に限定する」ということを核保有国が宣言すべきという内容である。

これまで日本国政府は、核抑止の立場でアメリカの「核の傘」に依存することは認めてきたが、核兵器の使用の是非については述べてこなかった。それ

を今回、「極限の状態」という段階では、核兵器の使用を認めることを表明したのである。これは、一九九五年のハーグ国際司法裁判所の勧告的意見「核兵器による威嚇又はその使用は一般的には国際法に違反する」、「国家の存亡そのものが危険にさらされているような、自衛の極端な状況における核兵器の威嚇または使用が合法であるか違法であるかについては、最終的な結論を下すことができない」の考え方に従ったものである。

しかし、ハーグ国際司法裁判所の勧告的意見は、「極限の状態において使用できる」としたのではなく、判断ができない」としたものである。ヒロシマ・ナガサキの惨状と長年にわたる被爆者の苦しみを経験した日本国政府としては、いかなる状況においても、「核兵器の使用を許すことはできない」という立場を鮮明にすべきである。

**国際的な会議が相乗的な影響を及ぼしながら
核兵器の廃絶に向けた国際的な包囲網
それを後押しするのは市民運動**

ナジャリット会議の議長総括では最後に、特に日本のような国に対して、「いまこそ行動すべき時である。広島・長崎七〇周年の節目は、われわれの目標を達するための適切な道標である。ナジャリットはもはや引き返しの効かない到達点である」と述べている。

核兵器の全面禁止を求める運動は、いまや大きな高まりを見せている。かつては、核兵器について論議する国際的な場は、国連総会やNPT再検討会議であったが、今日では、この「核兵器の人的影響

に関する会議」や、国連のハイレベル会議などである。これらの国際的な会議が相乗的な影響を及ぼしながら、核兵器の廃絶に向けた国際的な包囲網がすすむことを期待したい。それらの動きを後押しするのは、国際的な市民運動である。特に日本においては、日本国政府が、核兵器を廃絶する上で、きちつとその役割を果たすように強く求めていく必要がある。

(原和人非核の政府を求める会常任世話人の報告から 文責は編集部)



二〇一五年国連に要請団を送る会

結成総会と講演会のご案内

記

- 日時：三月二十九日(土)午後一時半～四時
会場：石川県教育会館二階大会議室
- ① ドキュメンタリー映画「不毛の地」上映
 - ② 講演「NPT再検討会議の焦点とめざす運動」
講師 日本原水協事務局長 安井正和氏
 - ③ 結成総会
- 主催：二〇一五年国連に要請団を送る石川県実行委員会
連絡先：電話 〇七六(二四〇) 七一九二

◆映画「標的の村」上映会のご案内◆

二〇一二年九月二十九日、アメリカ軍・普天間基地は完全に封鎖された。この前代未聞の出来事を「日本人」は知らない。普天間・辺野古・高江の真実を描くドキュメントである。

映画「標的の村」(琉球朝日放送制作)

県内9会場では上映会 いずれかの会場では是非鑑賞を！

開催地	日程	上映時間	会場
金沢地区	3月22日(土)	14:00～	石川県教育会館3階ホール
加賀地区	3月23日(日)	13:00～	アビオシティ・ホール
志賀地区	3月28日(金)	19:00～	志賀町文化会館
七尾地区	3月29日(土)	14:00～	七尾鹿島労働福祉会館ホール
珠洲地区	3月30日(日)	10時、14時	飯田わくわく広場
白山地区	3月30日(日)	19:00～	白山市松任図書館学習センター
津幡地区	4月5日(土)	14:00～	津幡町文化会館シグナス
野々市地区	4月6日(日)	19:30～	野々市市三納 常讃寺
小松地区	6月28日(土)	10:00～	小松市民センター

非核石川の会 リレーエッセイ

「自分らしく生きる」をめぐって

末友雅子

中学生の時、学校の図書館で長崎の被爆体験記を読み、「なぜ大人たちは戦争、原爆投下を止められなかったのだろう。今を生きている自分たちには、戦争を起こさせない責任がある」と思いました。その後、看護学生時代から仲間と活動してきました。直接、活動とは関係ありませんが、当時の忘れられない思い出のひとつが映画「追憶」です。

「第二次世界大戦中のアメリカ。大学で文学を学ぶクラスの二人、政治や平和に強い思いを持って活動している女とスポーツや仲間と気楽に生活を楽しむ男、反発しながらもその違いに惹かれあう。別々の道を歩んでいた二人が戦後再会結婚する。脚

本家となってハリウッドで売れ始めた男、ハリウッドには『アカ狩り』の嵐が…。再び二人の生き方が問われる。彼女は自分らしく生きるために離婚する。」

だいたいこんなあらずじ。若かった私は平和の活動と結婚生活の統一が可能かと悩んでいて、自分と彼氏を映画の二人に重ねずにはいられませんでした（彼氏はロバート・レッドフォードとはほど遠い容姿だけど）。

あれから四〇年、今日（三月三日結婚記念日）、BSで「追憶」の上映があり、真剣に見てしまいました。

冒頭の彼女の演説（戦争中）『共産主義者が怖い？怖いのは共産主義じゃなくて世界中の傍観者よ。平和を見殺しにする者よ』そして最後の場面は、二人が偶然再会、それぞれの人生を歩いていることを確認し、別れる。彼女は『原爆反対』『原爆実験反対』とビラをまいている。やっぱりいい映画でした。

「何年たっても、どんな状況になっても、これは譲れない」という彼女の凛とした姿勢にはほど遠いけれど、反核・平和の思いを少しでも行動につなげ、私も自分の意思で生きていきたいと思えます（夫は自分ほど我慢をしている者はいないと言いますが…）。

☆ ☆ ☆

私の中の広島

杉山正彦

顔半分が焼けただけケロイドで赤くひきつっていた彼が、広島から愛知県岡崎北高校に転校してきたのは、私が一年生のときでした（一九四八年、今から六六年前のこと）。私たちは彼に「原子（ゲンシ）」というあだ名をつけ、普通につき合っていました。彼もハンドボール部でそれなりに活躍していたのを思い出します。

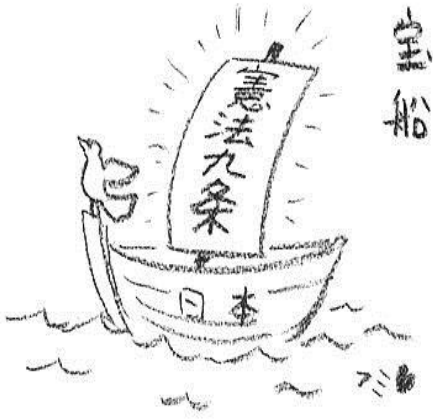
少し前、彼が亡くなったことを人づてに知りました。あまり良い死に方では無かったとのこと。より詳しいいきさつは聞く勇氣もなく、話題にもなりませんでした。

ニキビひとつでも気になる年頃、彼はどんな気持ちで生きていたのでしょうか。

普通につきあっていたと、こちら側では思っていない、差別というものはもともと差別される側の人が決めることであり、こちら側のはなしではない（意識的な差別は論外）。

「死んだ」という噂であらためて思いおこし気づかされました。大きな十字架を背負わされ差別と偏見にさらされ続けたであろう彼の一生の無惨さを。原爆への恐怖と怒り、核兵器廃絶運動の大切さを。

広島原爆ドームや第五福竜丸の船体が反原水爆のシンボルとして残されていることが如何に重要なことかを実感しています。人は忘れやすい（忘れさせようとする人達がいる）。



詩人会議かなざわ「独標」より

若者よ

土井和子

私は団塊と呼ばれる世代に生まれた

小学校に入ったころには

トントン葺の家が瓦葺の屋根へ変わろうとし

世の中はもう戦後ではないと勢いづいていた

町には溢れるほどの子供たちがいて

夏の蟬のように騒がしかった

大人たちは戦争という地獄から這い出たけれど

操られていた時代の価値は通用せず

酸素不足で窒息しそうになり

激流の川から這い上がるのに必死だった

戦地で病んだ私の父はすでにこの世には無く

母子家庭の小さな窓で町を見つめていた

酒を飲むと母親を殴る父親を怯えながら

涙の奥で憎んでいたヨシコちゃん

戦友の魂を鎮めに護国神社に行つては

生き延びた自分が恥ずかしいと目を赤くして

肩を落として帰ってきたチイチちゃんのパパ

焼夷弾に右手首をもぎ取られ不自由を

嘆いていた建具屋のおばちゃん

ガキ大将だったカオル君の家族が一夜にして消え

空き地で遊ぶ子供たちは指針を失った

優しかった叔父が突然に家を出たのも同じころ

祖母たちは豊かになるうとしている社会とは
裏腹に冷たい社会の路頭に放り出された

若者よ

心を切り裂く傷を舐め飛び散る血を

止めることもできず飲み込むだけだった

あの日々の轍を踏んではいけない

近隣の国々の恐怖を煽り

心の奥にあるナシヨナリズムに点火し

スイッチを押すと進むことしか出来ないロボット

それを自在に操ろうとしているモノたちの

足音がヒタヒタと近付いて来ようとしている

平和川柳研究会より

戦争を始める奴は戦わず

短くてとても長い三年は

事故起きて責任とれる人はなし

再稼働安全だという事にしておこう

天ぶらがうまくて遅い非常宣言

記念碑はすぐ作る三・一一

・・・

歴代のロボット総理多けれど

透けて見えるは安倍にまさらん

雅靖

雅靖

徹乘

徹乘

茂明

茂明

・・・

茂明

茂明



NO NUKES

子どもの
未来のために



ちひろ美術館

《編集室より》

◎県議会最終日の二月二日「国会に憲法改正の早期実現を求める意見書」が決議され、宛先は衆参両院議長、総理大臣、総務大臣、法務大臣、官房長官とある。討論がどのようにされたのか全く分からない内に意見書が採択されることは恐ろしい。

県民はそんな事実を知らないから抗議をすることも出来ない。抗議には鮮度も求められる。自共対決を主張する党は敏感に反応し、県民世論を喚起して欲しい。(平)

◎もう四十年にもなろうか。その頃流行りのデザインサーベイということで白山麓集落の住まい方調査に訪れた折のことだった。まさに、昨夜まで家族が暮らしていたかと思えるような「空き家」を案内され調査した覚えがある。語れば長くなるが、詩人会議かなざわ「独標」の土井和子さん『若者よ』には、この時代情景が描写されていて胸に迫る。(二)

故清水正明医師の広島被爆絵画シリーズ

⑦焦土孤影

瓦礫の野と化した焦土広島
 防火水槽の残影のみが
 長い影をおとしている
 老若男女を問わず、
 軍人、非軍人の別なく
 一瞬にして人も物も灰にしてしまった
 惨忍で非人道的な一発の爆弾
 それはやがて歴史によって裁かれるであろう
 人類の名の下で



輪島市教育委員会所有

絵手紙コーナー

政治の春を

金沢医療生協絵手紙班 近松美喜子



《非核平和・行事予定》

- ・三月二日(金) 二〇一四年ピースウォーク・石川中央公園・主催ピースウォーク実行委員会
- ・三月二九日(土) 一三時半 二〇一五年国連に要請団を送る石川の会結成総会と講演会 二〇一五年NPPT再検討会議の焦点とめざす運動 安井正和 日本原水協事務局長・石川県教育会館二階大会議室・主催同実行委員会
- ・四月六日(日) 一七時 核兵器廃絶署名・金沢駅
- ・四月七日(月) 九日(水) 平和の旅ミニ企画「沖縄基地視察・激励ツアー」参加費約五万五千元・主催石川県平和委員会
- ・四月九日(木) 一二時 核兵器廃絶署名・Mザ前

- ・四月二〇日(木) 春のミニ平和の旅・基地問題から平和を考えよう―小松加賀路・新日本婦人の会金沢支部
- ・五月三日(土) 一四時 輝け！九条石川県民集会・記念講演「安倍改憲政権の正体」斉藤貴男ジャーナリスト・本多の森ホール・主催九条の会石川ネット
- ・五月六日(火) 一七時 核兵器廃絶署名・金沢駅
- ・五月九日(金) 二二時 核兵器廃絶署名・Mザ前
- ・六月一日(日) 一三時半 非核の政府を求める石川の会第二六回総会と記念講演・(場所未定)
- ・六月一日(日) 石川県母親大会・石川県女性センター
- ・六月六日(金) 一二時 核兵器廃絶署名・Mザ前
- ・六月八日(日) 一三日(金) 核兵器廃絶国民平和大行進能登コース
- ・六月一四日(土) 核兵器廃絶国民平和大行進(日本海コース) 俱利伽羅で石川県へ 二四日(火) 吉崎で福井県へ引き継ぐ
- ・六月一四日(土) 一〇時半 非核の政府を求める会(全国の会) 第二九回総会
- ・六月一五日(日) 一三時半 第五回核兵器廃絶国際デー 映画「放射線を浴びたX年後」上映と第五福竜丸展示館学芸員・市田真理さん講演会・石川県女性センターホール・主催核戦争を防止する石川医師の会
- ・六月二九日(日) 九条の会北陸ブロック交流会・高岡市で開催
- ・八月二日(土) 三日(日) 日本母親大会 神奈川

◎編集部注：祝日は休日(国民の休日)と表記します。